

地域の方々の笑顔のために (ダンス)

本単元で育成する資質・能力

「主体性」「課題解決力(探究力)」「ふりかえり力(メタ認知力)」

- 1 日 時 令和元年9月24日(火) 6校時(15:00~15:50)
- 2 学年・組 第1学年A組(男子 17名, 女子 14名, 計 31名)

3 単元観

本単元は、学習指導要領におけるGダンス(1)イ「フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること」をもとに設定したものである。

小学校では、低学年の「表現リズム遊び」で、題材になりきったり、リズムに乗ったりして踊ることを、中学年及び高学年の「表現運動」で、表したい感じを表現したり、リズムや踊りの特徴をとらえたりして踊ることを学習している。中学校では、これらの学習を受けて、イメージをとらえたり深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにすることが求められる。したがって、第1学年及び第2学年では、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。また、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間のよさを認め合うことなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにすることが大切である。

さらに、音楽科の授業における、A表現ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」と関連付けたり、道徳の授業における、内容項目C- (16)「郷土を愛する態度」と関連づけ、本単元につなげていったりすることにより、教科横断的なカリキュラムマネジメントを行うことができる。

4 生徒観

本学年の生徒の新体力テストの結果は下の表の通りである。(☆印は県平均かつ全国平均未満)

1学年	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子平均	27.44	26.23	44.00	55.50	414.80	8.37	184.25	☆17.75	38.00
女子平均	24.21	23.93	44.14	48.93	☆301.15	☆9.31	☆163.71	13.14	49.31

1学年男女とも、体力合計点が県平均かつ全国平均を超えており、比較的体力の高い学年である。また、事前に実施したアンケート結果より90.32%(31人中28人)の生徒が運動をすることが好きと答えており体育の授業においても積極的に取り組んでいる。ダンスの授業を楽しみにしていると答えた生徒が67.74%(31人中21人)おり、ダンスに興味を持っている生徒は多い。また、半数以上の生徒は小学生の時に、「よさこいソーラン」を踊った経験がある。

7月に行った授業アンケートの中で、「授業では、友達の考えに対して、意見したり、質問したりすることで、自分の考えを積極的に伝えていきます」の積極的肯定的評価の割合が48.1%と半数以下となっている。他者の意見に自分の意見を伝え、議論することで考えを深めたり、新しい考えを想像したりすることが苦手である一面もある。

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・単元の初めに単元計画とパフォーマンス課題を提示し、見通しを持って取り組ませる。
- ・ICTを活用し、自分の姿を客観的に見たり、他者に助言したりする活動を取り入れる。
- ・各グループで役割を与え、責任感を持ってグループ活動に取り組ませる。

(2) 振り返り場面の指導の工夫

- ・授業中に理解できたこと、できなかったこと、他単元に生かせることや他教科、日常生活に生かせること等、振り返りの視点を明確にする。
- ・授業終了時に、本時に撮影した映像を見ることで、自己評価だけでなく他者評価を取り入れ、客観的に自分を振り返る材料を与える。

(3) 生徒の実態に合わせた指導の工夫

- ・グループ活動では、リーダー制を導入し、主体的な活動につなげる。
- ・本時の流れや、目標を提示することで、学習に見通しを持たせる。

6 単元の目標と評価規準

<単元の目標>

- ・フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。
- ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。

<評価規準>

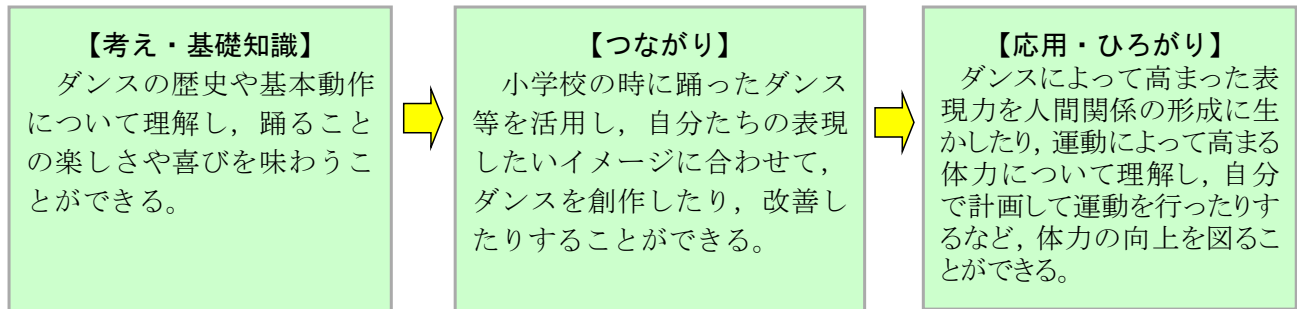
ア 運動への 関心・意欲・態度	イ 運動についての 思考・判断	ウ 運動の技能	エ 運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・発表の場面で仲間の良い動きや表現などを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊るための動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。

7 指導と評価の計画

○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	評価規準		
	I	C	E
主体性	・既存のダンスを体全体を使って表現しようとしている。	・イメージを膨らませて、既存のダンスにはない新たな動きを考え表現しようとしている。	・ダンスを、自分の表現したいイメージで踊ることができる。また、自己の表現力を高め日常生活で生かそうとしている。
課題解決力 (探究力)	・提示した課題について、単元内で行った活動を用いて解決することができる。	・ダンスをよりよくするために、表現したいイメージを理解したうえで、他者に説明することができる。	・生涯にわたって運動に親しめるよう、種目や目的に応じて、運動を考え実践することができる。
ふりかえり力 (メタ認知力)	・ダンスの歴史的背景や、基本の動きについて、どこまで理解できているかが分かっている。	・他者評価から自分の良さや改善点、他単元につながる体力や動きについてどこまで理解できているかが分かっている。	・運動によって高まる体力を理解したり、自分の体力の向上を実感したりするなど、学習前後で自分が変容したことが分かっている。

【ICEモデル】



(全8時間)

次	学習活動	観点				生徒の思考の流れ	評 価
		関	思	技	知		◇評価規準 ★資質・能力 (評価方法)
1	課題の設定 本時の目標：パフォーマンス課題を知り、解決するための手順や方法について考えることができる。 ○パフォーマンス課題の確認 ・単元末のパフォーマンス課題から、「さんわふるさとフェア」で「南中ソーラン」を踊ることに興味を持つ。 ○ダンスパフォーマンスをしている映像を見る。 ○「南中ソーラン」の歴史的背景について理解する。	○				・どんなダンスなんだろう。 ・ダンスの楽しさってなんだろう。 ・人前で踊るのは恥ずかしいな。 ・難しそうだなあ。 ・踊りだけでなく隊形の変化もあったほうがよさそうだな。 ・どんな動きを取り入れようか。 ・こんなことがあったのか。 ・ダンスの力ってすごいな。	◇ダンスの特性や良さを理解し、安全に運動することができる。 (行動観察, ワークシート) ★グループで積極的にダンスに親しもうとしている。 (行動観察) 【主体性】

	○自分たちのイメージする三和中や神石高原町について意見交流し、表現したいイメージを共有する。				<ul style="list-style-type: none"> ・神石高原町といえば自然かな。 ・人とのつながりもあるかな。 ・三和中学校といえば、三和中ブランドだよ。 	
<p>(単元を貫く課題) 発表会に向けてダンスを創作する活動を通して、リズムに合わせて踊ったり感じを込めて踊ったりすることができる。</p>						
2	情報の収集① 本時の目標：既存の「南中ソーラン」について理解し、踊ることができる。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○「南中ソーラン」のDVDを見せ、イメージを持つ。 ○全体で基本動作の練習を行う。 ○グループで基本動作を確認し、完成度を高めていく。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・けっこうしんどそうだな。 ・動きだけではなくて表情も必要かな。 ・迫力があるな。 ・意外と激しいダンスだな。 ・出だしの入るタイミングが難しい。 ・みんなで揃えることができたらかっこいいな。 ・人の動きを見て、動き方のコツがわかった。 ・鏡になる人がいるとやりやすいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本動作のポイントについて理解している。(行動観察, ワークシート) ★課題解決に向け、基本ステップのポイントについて理解し、他の人の動きを見て改善することができる。(行動観察, ワークシート) 【課題解決力】
3	情報の収集② 本時の目標：グループ毎に意見交流を行い「南中ソーラン」の完成度を高めることができる。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーを中心にグループ練習を行う。 ○2グループに分かれて、お互いのダンスを交流し、改善点を見つける。 ○改善点が修正できるようにグループで練習を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・サビの動きが分からないから友達に聞いてみよう。 ・まだまだ動きが小さいな。 ・声が出ていないな。 ・動きが大きくて迫力があるな。 ・自分たちでは分からないことに気付けたな。やっぱり人に見てもらっていいよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本動作の習得に向けて、ポイントを理解し、仲間と協力して練習を工夫して行っている。(行動観察, ワークシート) ★課題解決に向け、他者の意見を参考にダンスを改善することができる。(行動観察, ワークシート) 【課題解決力】
4	整理・分析① 本時の目標：「三和中らしさ」を取り入れた「三中ソーラン」を創作することができる。					
	<p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンスを創作するために、「三和中らしさ」について共通認識を持つ。 ○各グループに割り当てられた場面についてアレンジを考える。 ○グループ毎に創作したダンスを踊る。(タブレットで撮影する) ○撮影した動画を見て、修正点を考える。その後、修正点を踏まえて踊る。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながりや三和中ブランドを意識しないとイケないね。 ・やっぱり自然は外せないでしょ。 ・ここが一番盛り上がる場所だから、一番表現したいことをやりたいな。 ・表現したい気持ちを体で表すのが難しいね。 ・すごく難しいダンスになってしまったね。 ・ここはうまく表現できたんじゃない。 ・この場面は表現したい気持ちを表すことができていないんじゃないかな。 ・もう少し動きを大きくした方が自分たちの求める表現になるね。 ・今度はうまく表現できたね。 ・やっぱりまだうまく表現できていないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分たちの表現したいイメージを捉え、課題を解決することができる。(行動観察, ワークシート) ★自分たちのイメージを共有しながらダンスを創作することができる。(行動観察, ワークシート) 【課題解決力】

	○まとめ、振り返り					
5	整理・分析② 本時の目標：イメージした「三中ソーラン」に近づけるよう、意見交流を行い、ダンスを1UPすることができる。	○グループ毎にダンスを披露し意見交流を行う。	○	○	○	○
	○意見を参考に、ダンスを修正する。					
	○タブレットで見本となる動画を撮影する。					
						◇他者の意見を参考にして、課題を解決することができる。 (行動観察, ワークシート)
						★他のグループのダンスを見て自分たちのダンスと比較し理解を深めたり、改善点について説明したりすることができる。 (行動観察, ワークシート) 【課題解決力】
6	まとめ・創造・表現① 本時の目標：グループ毎でダンスを教え合い、「三中ソーラン」を踊ることができる。	○見本となる動画を見て、イメージを持つ。	○	○	○	○
	○場面毎にダンスを教え合う。					
	○「三中ソーラン」を踊る。 (タブレットで撮影する)					
						◇表現したいイメージを捉え、感じを込めて楽しく踊ることができる。 (行動観察)
						★創作したダンスを積極的に踊り、運動に親しもうとしている。 (行動観察) 【主体性】
7	まとめ・創造・表現② 本時の目標：三中ソーランをよりよくすることができる。	○前時の動画から修正点を見つけダンスの修正点を確認する。	○	○	○	○
	○修正点を意識しながら、「三中ソーラン」を踊る。 (タブレットで撮影する)					
	○修正版の撮影を行う。					
						◇修正点を理解し、ダンスを修正しダンスをよりよくすることができる。
						★基本動作や隊形の変化、動きの変化を意識しながらダンスを改善することができる。 (行動観察, ワークシート) 【課題解決力】
8	実行・振り返り 本時の目標：さんわふるさとフェアで披露するダンスを完成することができる。	パフォーマンス課題	○	○	○	○
	○前時の振り返りより、ダンスのポイントを確認する。					
	○「三中ソーラン」を踊る。 (タブレットで撮影する)					
	○まとめ、振り返り					
	・単元を貫く課題を解決する。					
						◇自分たちの表現したいイメージを捉え、感じを込めて楽しく踊ることができる。 (行動観察)
						★創作したダンスをふるさとフェアで披露している自分たちをイメージするとともに、自己の体力向上のために生かそうとしたり、日常生活に生かそうとしたりすることができる。 (行動観察, ワークシート) 【ふりかえり力】

パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性，課題解決力（探究力），ふりかえり力（メタ認知力）
教科の評価規準	イメージに合わせて踊ったり感じを込めて踊ったりすることができる。

パフォーマンス課題のシナリオ

今年も、昨年に引き続き、「さんわふるさとフェア」に参加することになりました。神石高原町の方々に自分たちの活躍している姿をしっかりと見てもらいたい、また、三和中学校創立20周年ということで、三和中学校らしさを表現したダンスをみてもらいたいと考えています。「さんわふるさとフェア」では「南中ソーラン」改め、「三中ソーラン」を披露しようと思っています。既存の「南中ソーラン」をどのようにアレンジし、三和中学校を表現した「三中ソーラン」にしよう。

予備的ルーブリック

尺度 (評点, レベル)	記述語 (パフォーマンスの特徴)
3 理想的	授業で学習した内容を理解し、それらを活用したり、新しい隊形や動きに強弱をつけたり、また新たな動きを想像してダンスを踊ることができるとともに、授業で身に付けた表現力を日常のどの場面に生かされるかなど具体的に例示することができる。
2 合格	授業で学習した内容を理解し、それらを活用しながら新しい隊形や動きに強弱をつけてダンスを創作し、踊ることができる。
1 乗り越えさせたい実態	授業で学習した内容を理解し、それらを活用しながらダンスを創作したり踊ったりしている。

8 本時の学習

(1) 本時の目標

ダンス創作のポイントを理解し、ダンスを創作することができる。

(2) 本時の評価規準

表現したいイメージを捉えた表現方法について理解することができる。

【運動についての思考・表現】

(3) 準備物

タブレット4台，ホワイトボード，ワークシート，CDデッキ4台

(4) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆配慮の必要な生徒への支援	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1 前時の学習の確認をする。 [5分]			
○準備運動を行う。 ・「南中ソーラン」を踊る	◇前時のポイントを押さえて踊らせる。		

2 本時の課題や流れを確認する。〔3分〕			
○自分たちの表現したいイメージを確認する。 【本時の目標】	◇自分たちのまとめた表現したいイメージをホワイトボードに書き出し、全体で共有させる。		
「三和中らしさ」を取り入れた「三中ソーラン」を創作することができる。			
3 情報を整理・分析し、課題解決をする。〔17分〕			
①（集団思考）〔7分〕 ○「三和中らしさ」を表現するための動きを考える。 ・規律三原則から動きは揃っていた方が良い。 ・つながりが強いので、仲の良さをアピールする動きが良い。	◇グループで「三和中らしさ」を捉えたダンスを考えさせる。 ①ブレインストーミングで多くの意見を出させる。 ②グループ練習でやってみたい動きを精選する。 ◆創作に向けての手立て（ポイントの提示） ・動きの変化 ・隊形の変化		
②（グループ練習）〔10分〕 ○表現したいイメージを捉えて、ダンスを創作する。 ・隊形を変化させる。 ・動きの変化（強弱等）	◇リーダーを中心に練習させる。		
4 創作ダンスの確認をする。〔20分〕			
○グループでダンスの修正点を考える。（12分） ①「三和中らしさ」を視点に自分たちのダンスを見る。 ②改善案について話し合う。 ※役割を明確にして話し合い活動を行う。	◇話し合い活動の役割を明確にさせる。 ①司会者（1名） ②記録者（2名） ③発表者（2名） ④タブレット（1名） ⑤つつこみ係（2名） ◇見る視点に注目させる。 ◇つつこみ係の意見から話し合いを深めさせる。 ◆参考動画を提示し、動きの参考にさせる。	グループの修正点を見つけ、自分たちの表現したいイメージを捉えた動きを考えることができる。 （ワークシート）【思考・表現】	自分たちのイメージを共有しながらダンスを創作することができる。 （行動観察、ワークシート） 【課題解決力】
○修正点を踏まえてダンスを踊る。（8分）	◇最初に考えたダンスとの違いを明確に踊らせる。		

--	--	--	--

5 本時を振り返り，次時につなげる。〔5分〕

<p>○振り返りを書く。</p>	<p>◇分かったこと，他単元・他教科との関連等をワークシートに記入させる。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>振り返りで目指す生徒の姿</p> <p>・表現したいイメージを考えることが難しかったけど，動きに強弱をつけたり，隊形を変えたりすることでイメージが大きく変わることがわかりました。良いものを作って，早く地域の方に見てもらいたいと思いました。</p> </div>
------------------	---	---

板書計画

本時のめあて

「三和中らしさ」を取り入れた「三中ソーラン」を創作することができる。

学習の流れ

- ①W－UP（南中ソーラン）
- ②課題確認
- ③グループ活動（思考）
- ④グループ活動（運動）
- ⑤振り返り

三和中らしさ

(例)

- ・三和中ブランド
- ・自然豊か
- ・人とのつながり

etc

三和中らしさをイメージした写真